

## 2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）テーマ事業 「いのちの遊び場 クラゲ館」への協賛について

東武トップツアーズ株式会社（本社：東京都墨田区、社長：百木田康二）は、このたび 2025 年日本国際博覧会（大阪・関西万博）が掲げる「いのち輝く未来社会のデザイン」を実現する上で重要な取り組みである、テーマ事業「シグネチャーパビリオン」において、STEAM 教育の第一人者として知られる中島さち子氏がテーマ事業プロデューサーとして担当する、「いのちの遊び場 クラゲ館」にブロンズパートナーとして協賛することとなりましたので、お知らせします。



©steAm Inc. & Tetsuo Kobori Architects All Rights Reserved

大阪・関西万博は、人間一人一人が、自らの望む生き方を考え、それぞれの可能性を最大限に発揮できるようにするとともに、こうした生き方を支える持続可能な社会を、国際社会が共創していくことを推進する「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとして掲げ、2025年4月13日から10月13日の約半年間にわたり、大阪市・夢洲の会場で開催されます。

同万博を象徴・代表するテーマ事業では、8名の専門家がテーマ事業プロデューサーとしてパビリオンをつくり、「いのち輝く未来社会のデザイン」をそれぞれ固有の観点から解釈、展開して、未来に生きる人々に繋ぎ渡す役割を担います。

当社は、中島さち子氏の取組に賛同し、遊びや学び、スポーツや芸術を通して、生きる喜びや楽しさを感じ、ともにいのちを高めていく共創の場を創出できるよう、同氏がテーマ事業プロデューサーを務める「いのちの遊び場 クラゲ館」への協賛を通じて、未来の社会を担う人材の育成に努めていきます。

今後当社は、2025年に大阪・夢洲の万博会場から未来社会の姿を発信することを目指して、テーマ事業に積極的に参画することで将来に向けた課題の解決に努め、全都道府県に事業所を有する企業として、全国の児童生徒の皆様が、探究学習の成果として「STEAM ワクワクを探す旅！」にご参加いただき、中島さち子氏の目標である「創造性の民主化」に貢献してまいります。

以上

報道関係の方からのお問合せ

東武トップツアーズ株式会社 経営戦略部 広報担当 TEL:03-3622-6215

## < 参考 >

### ■中島さち子氏

大阪・関西万博テーマ事業プロデューサー「いのちを高める」

ジャズピアニスト・数学研究者・STEAM 教育者・メディアアーティスト

(株)steAm 代表取締役

国際数学オリンピック(IMO) 金メダリスト・内閣府 STEM Girls Ambassador

経済産業省や文部科学省の教育変革に関わる委員会などに多数所属



左：

シグネチャーパビリオンイメージ動画

右：

中島さち子メッセージ動画

### ■「シグネチャーパビリオン」とは

テーマ事業は大阪・関西万博を象徴・代表する事業であり、8名の専門家がつくるパビリオンは、テーマをそれぞれの哲学から語り深める「署名作品」でもあることから、「シグネチャーパビリオン」と名付けました。8名のテーマ事業プロデューサーが大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を、それぞれ固有の観点から解釈、展開し、未来に生きる人々に繋ぎ渡すパビリオンを建設します。

### ■テーマ事業名、パビリオン名及びテーマ事業プロデューサー

テーマ事業名	パビリオン名	テーマ事業プロデューサー
いのちを響き合わせる	Co-being	宮田 裕章（慶応義塾大学教授）
いのちを広げる	いのちの未来	石黒 浩（大阪大学教授、ATR 石黒浩特別研究所客員所長）
いのちを高める	いのちの遊び場 クラゲ館	中島 さち子（音楽家、数学研究者、STEAM 教育家）
いのちを磨く	null <sup>2</sup>	落合 陽一（メディアアーティスト）
いのちを知る	いのち動的平衡 I am You	福岡 伸一（生物学者、青山学院大学教授）
いのちを育む	いのちめぐる冒険	河森 正治（アニメーション監督、メカニックデザイナー）
いのちをつむぐ	EARTH MART	小山 薫堂（放送作家、京都芸術大学副学長）
いのちを守る	いのちのあかし	河瀬 直美（映画作家）

### ■STEAM 教育とは

科学（Science）、技術（Technology）、工学・ものづくり（Engineering）、アート・リベラルアーツ（Art/Arts）、数学（Mathematics）などの領域を横断する創造的・主体的・協働的な学び方や教育手法を指す。<ワクワク（好奇心や興味・関心）を中心とした「知る」と「創る」の循環>をベースとした探究・プロジェクト型学習など、唯一解がない揺らぎの時代の「研究者・芸術家・発明家・起業家のような学び方・生き方」を表す用語として、近年世界的に推進されています。

以上